

地元中学生によるシラクチカズラの挿し木



ていけるよう、森林づくり活動を推進します。

国指定重要有形民族文化財の「祖谷のから橋」は、老朽化が早く、三年毎に架け替えられており、平成二六年度は架け替えの年に当たります。

架け替え用資材のシラ

古事の森での森林整備(下刈)



クチカズラは年々確保が難しくなっています。このため、今回も国有林からの供給を図るとともに、将来に向けて近在の国有林から安定的に供給できるよう、祖谷の協議会と徳島森林管理署との間で結ばれた協定に基づいた取組を支援します。

千本山国有林



② 森林への理解の醸成に向けた取組

四国4県とともに平成一六年度に発表した「四国の森林づくりに関する

また、伝統建築物への対応として、「伊予之三名島古事の森」森林づくり活動の実施や文化財資源備蓄林を設定し、文化的価値のある木造建築物等に必要な大径長尺材の供給に備えることとしています。

懐かしき森林鉄道に体験乗車



る共同宣言」に基づき、森林整備、木材利用、森林環境教育などの具体的な取組を推進しています。

平成二六年度は、国民の皆様が森林に親しみ、自然と触れ合うことにより、森林への理解をより深めていただけるよう、スギの巨木が林立する魚

四国山の日賞表彰



梁瀬の千本山国有林や昭和三八年に廃線となった魚梁瀬森林鉄道の遺産を訪ねる散策ツアーを秋季に実施する予定です。

また、四国の森づくりに積極的に取り組む団体、企業等を対象とした「四国山の日賞」を募集し、選考された団体を表彰します。

③ 小・中・高等と連携し

た森林環境教育

小・中・高の生徒等を対象に、国有林のフィールド等を活用した森林教室や間伐体験、木工クラフト教室等を各学校等と連携して実施します。これにより、森林の果たす大切な役割、木材の良さ

等

等の理解を深め、自然環境への関心を高めてもらいます。平成二五年度は約一二〇回の森林教室を実施しました。

平成二六年度も引き続き、森林・木工教室の実施や学校林等においての間伐体験等の体験林業を実施します。



高校生を対象とした二ホン
ジ力食害防止対策の学習



中学生を対象とした学校
林での間伐体験



公益社団法人森と緑の会主催による、「春の緑の街頭募金」が四月二〇日、高知市の中央公園及び帯屋町商店街で行われました。今回はご当地ヒーローのゴメンジャーのショーがあった

り、また、募金活動にも参加するなど、毎回参加のくろしお君とともに、いつも以上に親子連れの関心を集めていました。

出発式の後、浅川局長をはじめボランティアスタッフ

が参加し、「緑の募金にご協力をお願いします。」と大きな声でアーケードを行き交う人々に募金の協力を呼びかけるとともに、森林の大切さなどを訴えました。



出発式で挨拶される浅川局長

当日は、朝から小雨が降り、足下の心配をしていましたが、式が始まる直前に

は雨もやみ、買い物客や「赤ちゃん会」の帰りとと思われるベビーカーをおした親子が足を止め、たくさんさんの善意が寄せられました。

この「緑の募金」は五月三一日まで行われており、いただいた募金は、水源の森林づくりや、緑の少年団の育成、国際緑化事業などに活用されることになっています。



街頭募金の様子



「金ちゃん」こと正岡金四郎さん（OB）は、木工歴三〇有余年、在職中から森林教室（木工教室）の指導にも力を注いできました。

退職後は本格的に局の森林教室のお手伝いをして頂くようになり、平成二五年度は、親子ふれあいツアー、夏休み森林教室一六回、夏休み期間中には、森林ふれあい館において、木工品や森林鉄道写真の展示及び木工教室を開催していただきました。

「金ちゃん」こと正岡金四郎さん（OB）は、木工歴三〇有余年、在職中から森林教室（木工教室）の指導にも力を注いできました。退職後は本格的に局の森林教室のお手伝いをして頂くようになり、平成二五年度は、親子ふれあいツアー、夏休み森林教室一六回、夏休み期間中には、森林ふれあい館において、木工品や森林鉄道写真の展示及び木工教室を開催していただきました。

この催しは中芸観光協議会が主催で第一回は、高知市中央公園で開催したようですが、二回目の今回は、「開催地を中芸地区に設置することにより、実際に中芸の魅力に触れてもらい、再度訪れてもらおうきっかけづくりとなるようなイベント」という趣旨のもとに奈半利町で開催されました。

この祭りへの参加は、正岡氏の知り合いが協議会の事務局をしているという縁から中芸観光協議会より要請があったものです。

当日は、晴れだったものの場所が漁港ということもあって風が大変強く、木工の材料が何度も吹き飛ばされる状況であり、子供達に来てくれるのかと心配をしておりましたが、やはり子どもは風の子、寒さももろ

ともせず約二百名の子供達が集まり、ビンゴゲームで楽しんだ後、ジージゼミ作り、カエルストラップ作り、サワガニ作りを体験しました。



ビンゴゲームを教える正岡氏

子供の中には、三種類全部作りたくて三回ビンゴを達成し作品を作った子もいました。

作る作品はやはりジージゼミが圧倒的に多く、太鼓の音も負けるぐらいのセミの鳴き声が漁港に響いていました。

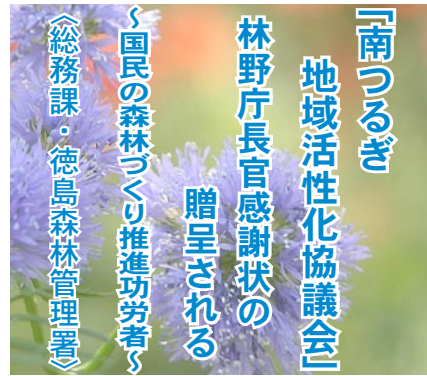
今回も木で作成した玩具で遊び、木工品を自分で作るといった方法で木の良さがPR出来たのではないかと思います。

今回から登場したドラえもん、のび太、ジャイアン、しずかちゃん、大雄のキャラクターをつかったビンゴゲームが大人気で、大人も挑戦していました。ある親御さんは、「これ本当に作ったがああ？」とゲームよりゲーム機に目を丸くしていました。



木工の指導をする正岡氏

各地のたより



【林野庁長官感謝状授与式】

◆右側 平井会長

◇左側 井上業務管理官



五月一四日、国民の森林づくり推進功労者として、当局から推薦しました「南つるぎ地域活性化協議会」【会長 平井 滋】への林野庁長官感謝状の贈呈が、徳島森林管理署において、当局の井上業務管理官より行われました。

南つるぎ地域活性化協議会は徳島県那賀町を基盤

設立しました。

徳島県三好市東祖谷、美馬市木屋平、那賀郡那賀町木沢の間に位置する。剣山（標高一九五五m）は、多様な動植物が生息する豊かな自然に恵まれており、また、古くから人々に親しまれ、毎年多くの人が訪れる徳島県の代表的な観光地です。

しかし、近年の地球温暖化による気候変動の影響や、ニホンジカの被害をはじめとする生態系の急激な変化などにより、この地域では登山道の荒廃が急速に進行していました。

これにより、登山客の通行が妨げられるだけでなく、森林、水源地及び生態系等の自然環境を十

分に保全することができない状況となっていました。このため、登山道の修復による持続的な環境保全活動を展開し、さらには地域住民以外にも意識啓発と活動参加を促すことで、この地域の自然の魅力を観光資源として多くの人々に発信し、交流人口の増加による地域活性化に繋げることを目的として、南つるぎ地域活性化協議会が設立されました。

剣山を登山する観光客の多くは、北側の見ノ越登山口を利用しており、剣山南側地域は、登山道等も荒廃していました。

本会設立後、登山道整備や案内板設置を平成二三

年度～二五年度に計一回、延べ二八〇名で実施しました。また、登山道周辺の樹木をニホンジカの食害から守るための樹木ガードの設置や登山道整備とあわせて清掃活動も行いました。その間、平成二三年一二月には、「第一回四国の右下 食博覧会 南阿 波井祭り」及び「南つるぎ写真パネル展」を開催し、約二万人の来場者にPRするなど、南つるぎの地域活性化に貢献し、この会の活動は、地元、徳島新聞にも大きく取り上げられ、広く一般市民に支持されています。

また、登山道及び樹木ガードを設置した箇所は、

すべてが徳島森林管理署管内の国有林であり、国有林への貢献も多大であることからこのたびの感謝状の授与に至ったものです。

なお、受賞者の平井会長は、「すばらしい賞を頂き、ありがとうございますま

した。今後も活動が続けて行きたいと考えています。」とコメントされていました。

※南つるぎ地域活性化協議会の林野庁長官感謝状の授与については、翌日、五月一日、徳島新聞朝刊に掲載されました。



【林野庁長官感謝状授与後】

◇右側 堀徳島森林管理署長

◆中央 平井会長

◇左側 井上業務管理官



好天に恵まれた四月十九日、高知県四万十市西土佐の四万十ひろばで、今年で二回目となる、西土佐地域の食材等を集めた「しまんと川びらき&春のうまいも

のマルシェ」が開かれ、当センターの木工体験コーナーも大盛況となりました。

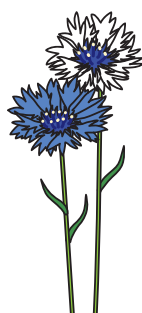
当日は、西土佐地域の食材等の出店や、会場周辺ではカヌー無料体験や屋形船の無料乗船、竹林でのタケノコ掘り体験等も行われました。

当センターの木工体験コーナーには、イベント開始前から親子連れや小学生のグループ等、沢山の人が訪れ、クマのストラップ作りや、丸太の輪切りを楽しんでいました。イベント開催中、お客さんの途切れることもなく、予定していたキットが足りない程の今までにない大盛況となり、天候にも恵まれ、

木工体験コーナー



当センターの活動についての良いPRの機会となるとともに、地域との結びつきが深められた一日となりました。



四月二五日、足摺宇和海国立公園内にある滑床溪谷で、愛媛県松野町等が主催する恒例の滑床山の山開きの神事が行われました。

この山開きには、地元の松野南小学校の全児童八名が目黒緑の少年隊として出席しており、毎年、神事の後に滑床山で森林教室を行っています。

今年は、松野南小学校の校庭にあるダイオウマツのマツボックリを使って六月上旬に開催される地域イベント「ほたる祭り」に出品

大きな松ぼっくり、何を飾ろうかな。



するものを作りたいとの依頼があり、木工教室を実施しました。

作業時間が、一時間三十分と短いため、各パーツはあらかじめ当センターで作製しました。各パーツをボードで張り合わせボスカで着色するという単純なものとし、学年で差が出ないよう工夫しました。

児童達は、マツボックリを思い思いの色で着色し、最後に、ビーズを付けて、完成させました。

当日は、天気の良い新緑の中での木工教室となり、子どもたちが、大きくなって滑床溪谷で過ごした楽しい時間や森林の素晴らしさを思い出してくれば幸いです。



目黒緑の少年隊の皆様



好天に恵まれた四月二六

日、愛媛県松野町滑床溪谷で、今回、初めての、「滑床アウトドアフェスティバル」スニ〇一四」が開かれ、当センターの木工体験コーナーも大盛況となりました。

このイベントは、平成二五年一一月に設立された「NPO法人森の国ネット」の主催で、宇和島圏域・四万十川流域に点在するアウトドアスポーツの業者間の連携を図り、「エリア」として総合的に情報発信することで、各事業者の

発展に寄与すること等を目的に、エリア内のアウトドアスポーツを一同に紹介できるイベントとして開催されたもので、活動エリアである当センターにも要請があり、参加しました。



木工クラフト大盛況

会場周辺では、キャニオニング、ロープ木登り、フライフィッシング、スラックライオン等が行われました。

当センターの木工体験コーナーは、松山市等から

の親子連れや大学生のグループ等、沢山の人が訪れ、クマのストラップ作りや、丸太の輪切りを楽しんだり、イベント開催中、体験コーナーには、お客さんの途切れることなく、多くの方が訪れ、手作り木製品の良さをPRするとともに、地域との結びつきが深められた一日となりました。



丸太の輪切り難しい